



# 環境大レポート

K A N K Y O D A I R E P O R T

第45号

Sep. 2026



入学式



昆虫採取をする学生たち



学生EMS委員会企画  
情報メディアセンター地下ツアー



磯野ゼミが八頭町とイベントを企画・運営



学生団体「びおとぶ」の皆さん



第62回鳥取しゃんしゃん祭り



セントラルクリスチャンカレッジ  
オブカンザス(米国)との交流事業



モルック大会



倉持ゼミカフェイベント

特集

## フレッシュ!フレッシュ! フレッシュ!

新学部長からのメッセージ  
1年生インタビュー



### キャンパストピックス

TUES Sustainability Week2026を開催しました!  
夢を追い続け、歌手デビューKisatoさん  
2028年4月、環境学部「保全生物学」新設



### 人事報告

着任挨拶



### 研究紹介

農家の家族をデータで読み解く 経営学部 西村 教子 教授



### 教員著書紹介

地方創生のための経営学

2 3



### 就職支援

2025年度就職・進学実績



### 国際交流

セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(米)との学生交流プログラムを実施しました  
『日本文化体験交流会』を実施しました



### クラブ&サークル活動・資格取得

献血推進サークル鴛鴦(Oshidori)・生物部/資格取得



### Pick Up ゼミ紹介

松井ゼミ



### 表彰・採択関係

「2025年度 WebxIoT メイカースチャレンジ PLUS」全国大会でグランプリ受賞  
「日本古生物学会2026年 年会」で学生ポスター賞を受賞



### キャンパスニュース

TUESレポートより



### お知らせ

PRコーナー/主なスケジュール 2026年9月~2027年3月まで  
2026年度 学部・大学院学位授与式/寄附金のお祝い ほか

7

8

9

10

11

12

4

5

6





経営学部

石川 真澄 経営学部長

専門分野 | 公共政策／経済政策／環境経済

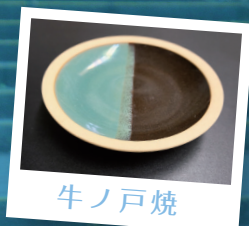
栃木県出身。同志社大学大学院経済学研究科博士課程後期(経済政策専攻)退学。2001年に本学環境情報学部に着任。経営学部副学部長、副学部長補佐(学生生活・就職・広報・情報担当)、就職支援センター長などを歴任し、2026年4月より経営学部長。

学生へのメッセージ

大学生活の4年間は、人生の中でも自分のために使える貴重な期間です。皆さんが沢山の思い出と成長を実現することを願っています。社会に出て活かせる経営学を、しっかりと学べる場を整えて皆さんを応援します。

イチ推しのもの

持続可能な経済発展を考えると、「長く使える」「飽きのこない」モノが重要になると考えています。鳥取の伝統でもある「民藝」の思想とも通ずるのではないかと思います。自分自身は新しいもの好き、お値打ち品好きのためなかなか守れないのですが、デスクに置いて使う度に日々の反省としています。



牛ノ戸焼

こんな学部を目指します！

知識はもとより、思考すら機械に委ねられる世界になるとの声を聞きます。それでも問いを立て、適切な解決策を導くには人の思考力と判断力の向上が必要です。経営学を柱に、継続的に考え、学び続ける基盤となる学びを目指します。

2026年4月に就任した2名の学部長に、これからの学部への思いと、学生へのメッセージを聞きました！

新学部長からのメッセージ



環境学部

門木 秀幸 環境学部長

専門分野 | 環境分析／廃棄物・リサイクル工学

鳥取県出身。信州大学大学院理学研究科化学専攻修士課程修了。鳥取県衛生環境研究所研究員等を経て、鳥取大学大学院工学研究科社会開発工学専攻博士後期課程修了。同研究所環境化学室研究主任、リサイクルチームチーム長を歴任。2018年に本学環境学部に着任、2024年に同副学部長。2026年4月より環境学部長・大学院環境経営研究科長。

学生へのメッセージ

いま与えられた環境でできることに真剣に取り組むこと。挑戦し、困難を受け入れること。様々な悩みを抱えながら、あえてその悩みを糧として感謝してみること。成長と困難は表裏一体であり、その先にこそ本当の成長があります。

イチ推しのもの

ICP質量分析装置 研究室でよく使用する機器です。6000～10000K(約1万℃)もの超高温のプラズマを利用し、大気中で原子から電子を取り去りイオン化します。毒性がある重金属の分析に利用されます。



こんな学部を目指します！

学生の皆さんは、生活の中で様々な期待と不安を抱え、専門的な学修に取り組み、人として大きく成長しています。本学部は1学年に約160人、その成長と努力は一人ひとりが違います。その一人ひとり違う努力が認められ、誰も取り残されずに、かけがえのない人生を歩む力を身につけることができる、そのような学部を目指しています。



ICP質量分析装置

新学部長からのメッセージ

1年生インタビュー

特集



1年生×小林学長の座談会を開催！

入学から約2か月の5月27日と6月3日、1年生と小林学長による座談会を開催しました。(計11名が参加)新しい環境に少し慣れ始めたフレッシュな1年生たちが、大学生活の魅力や気づき、「こんな大学になったらもっといい」というアイデアなど、率直な声を聞かせてくれました。



座談会に参加した学生のうち9名が、この時期ならではの声を聞かせてくれました！

小林朋道学長からのメッセージ

学生の皆さんの言葉から、大学生活を前向きに楽しみながら、新しいことに挑戦しようとする姿勢が伝わってきました。大学は、学生の皆さんとともに作り上げていくものです。今回寄せられたフレッシュな声を大切にしながら、一人ひとりの挑戦と成長を支え、これからも学生とともに魅力ある大学づくりを進めていきたいと思っています。



経営学部  
望さん  
(岡山県出身)



Q 本学でのキャンパスライフはいかがですか？

望さん

自然豊かな田舎の環境で落ち着いて学べる点が魅力。パーレー部は仲間と切磋琢磨でき、充実した活動ができています。

渡邊

一人暮らしにも慣れてきて講義の流れも掴めてきました。友人との交流も増えて楽しいです。

吉良

フィールド演習等で多くの人と関わりが持てて毎日が濃いです。先生もみんな個性的で飽きなくて楽しいです。

森田

自由で楽しい。空きコマにはヤギを見たり英語村に行ったりすることができて暇にならない。

武末

休み時間は友人と情報やお菓子を交換しながら談笑しています。チューターメンバーや先輩方とも接する機会が多いです。自然や地域と関わる学生団体で活動し、平日も休日もしリフレッシュできています。

佐藤

自然がたくさんで環境大学ならではの学びができていると思う。

李

思っていたよりも自由な場所で自分から動かないといけないことに最初は戸惑った。課題が多いと感じるが、縦とも横ともつながりがあって充実している。

環境学部  
松田 望心さん  
(京都府出身)



Q 在学中に挑戦したいことは何ですか？

石坂

留学に挑戦してみたい。オーストラリアやマレーシアなど世界を見てみたい。何度か行ってみたい。不安もあるけど、挑戦してみたい。

望心

留学すること。今年は英語留学するためにTOEICの勉強をしたり英語村に行ったりしている。気象系の職業につきたいから、その分野の資格を在学中に取ろうと思う。

渡邊

就職の第一志望は地方公務員ですが、理科教員の免許の取得も目指しています。

松田

1、2年時はボランティア活動や、学生団体の新たな活動に挑戦したいです。3、4年時は研究に全力で打ち込み、新たな発見をしたいです。

吉良

フロンティアスクール等のボランティアに参加して多くの人と関わっていきたい。また資格も取りたいです。

森田

面白い研究をして学会で発表する。

李

鳥取や西日本でしかできないこと、鳥取だからこそできること(農場バイトや自然系の活動など)に積極的に挑戦したい。行き先を決めない一人旅をしてみたい。

環境学部  
吉良 佳太さん  
(大分県出身)



Q 4年後(卒業時)の自分のイメージは？どうなっていたいですか？

石坂

専門的な知識と多様な経験を積んだ、主体的に行動ができる人になりたい。社会への視野を広げ多様な人と協力しながら自分の選択に自信を持って進める人になりたい。

渡邊

環境保全のためには何をすべきか、地域住民に対するアプローチは何かがあるかを考え同僚とアイデアを出し合い実行するような自分になりたい。

松田

現在は、水処理などインフラに関わる仕事に就きたいと考えています。研究をより深めたいと感じたら、大学院に進学することも視野に入れています。

佐藤

自分の興味がある分野に関して卒業研究で自分だけの研究をしたい。卒業するころには自分に自信をもって活動ができるようになりたい。

Q 本学の中で気に入っている場所がありますか？

石坂

佐藤

情報メディアセンター

渡邊

キャンパス全体・ヤギ

石坂

望心

吉良

武末

李

学生センター

図書館

石坂



## TUES Sustainability Week2026 を開催しました！



2026年7月6日(月)から11日(土)まで、「TUES Sustainability Week 2026」を開催しました。

今年度は「陽(ひ)さす若葉」をテーマに掲げ、防災や脱炭素、生物多様性に関する「Sustainability Talks」のほか、パネル展示や古着・古本市など、さまざまなイベントを実施しました。

「Sustainability Talks」では、「防災」「脱炭素」「生物多様性」をテーマに、行政、研究者、企業、学生団体などがそれぞれの取組をリレー形式で発表しました。7月8日(水)の「生物多様性」をテーマとした回には、多くの学生・教職員が参加し、鳥取大学名誉教授の日置佳之先生から、奥大山鏡ヶ成の自然共生サイト登録を題材に、生物多様性の保全・再生に関する課題や、自然に親しむ場や機会を創出することの重要性についてご講演いただきました。

また、今年度も昨年度に引き続き、地域の方々を対象とした体験型イベント「未来ノオト」を7月11日(土)に開催しました。今年のテーマは「『防災』×『水環境』から考える持続可能な地域の未来」で、「見て、触れて、体験して、学べる」イベントとして実施しました。

会場となった本学には、県内の自治体や企業の皆さまのご協力のもと、防災に関する体験ブース等を屋内外に複数設置しました。流域治水の模型を使った治水体験や、今年度鳥取県で開催される「ぼうさいこくたい2026 in 鳥取」のペーパークラフト体験のほか、屋外では消防車や自衛隊、警察の緊急車両の展示・試乗体験も行われ、多くの家族連れでにぎわいました。

## 〈 Sustainability Talks 〉



Talks



緊急車両等の展示・試乗体験

当日は、お子さん連れのご家族や近隣住民など300人を超える方々が来場し、「見て、触れて、体験する」を通して、防災に関する工夫や身近な水環境知識や技術を学び、体験していただく機会となりました。

「TUES Sustainability Week」は、本学の脱炭素推進に合わせ、学生が主体となって脱炭素をはじめとするSDGsの課題について考え、啓発活動を行うことを目的として実施しているイベントです。



流域治水の模型で、川の水の流れ方を体験



省庁や企業等の防災に関する様々な体験・展示ブース



エコドライブシミュレーターで運転！

## 夢を追い続け、歌手デビュー Kisato さん(藤縄 祥さん)



本学卒業生のKisatoさんが、このたび歌手としてデビューされました。

学生時代から音楽への想いを抱き、現在アーティストとして活動。2026年6月17日にデビュー曲「Believe It」をリリースし、新たな一歩を踏み出しました！

## 在学生へのメッセージ

大学での学びが仕事へ。サークルでの経験が音楽活動へ。大学での日々の挑戦すべてが、今の僕をつくっています。就職につながる学びも、歌の練習を始めたのも、大学に入学してからでした。大学生活は、自分の「好き」を突き詰め、新しい自分に出会える最高の時間です。迷回りに思える道であっても、そこで得た経験や仲間、価値観は必ずこれからの未来を支える力になります。始まりはいつでも、どこでも、何を持たずとも、まずは“行動を起こすこと”が現状を変える唯一の手段となります。可能性を狭めず、なりたい自分を思い浮かべながら熱心に取り組む、今しかできない挑戦を心から楽しんでください！

デビュー曲『Believe It』  
リンク (YouTube)



活動内容(公式サイト)

## Profile

**Kisato** (藤縄 祥) 鳥取県出身

経営学部卒業、在学中はアカベラ部と音創部に所属

Q. 大学内で好きだった場所は？

→ 11講義室(椅子がふかふかで座りやすい、疲れない。履修する授業の講義室がここだと嬉しかった。)

→ 学生センター(友達と勉強したりご飯を食べたりした場所)

現在は東京を拠点に、ITエンジニアとして働きながら、ワンマンライブの企画、オリジナル曲の制作やカバー曲の収録、イベントへの参加など音楽活動を満喫中



## 着 | 任 | 挨 | 拶 | 3名の教員が着任いたしました。



2026年4月より本学に着任しました。前職は福井高専で教員を務めておりましたが、前々職は技術者としてIT(情報技術)業界に長らく身を置いておりました。近年、保護者の皆様もお気づきの通り、どのような企業でもクラウド、DX、サイバーセキュリティなどに取り組むことが求められます。IT系業務は一部の技術社員に任せていれば済んでいたひと昔とは違い、現在では企画、営業、総務などいろいろな非技術系の専門家が、自社の情報システムの構築改善に積極的に関与しています。これは本学の卒業生が、たとえITとは無関係な業界に就職しても情報システムとは無縁ではられない可能性が高いということです。

講義では学生の皆さんに、IT技術そのものに加え、非工学系の本学でIT技術を学ぶ意義と強みについても伝えてできればと思っております。

人間形成教育センター **波多 浩昭** 教授



2026年4月に環境学部に教職課程担当として着任いたしました。生まれと育ちは兵庫県で、その後京都の大学院を経て、昨年度まで愛知県の私立大学に勤務しておりました。私の研究テーマは「不登校の子どもの学校外の居場所(フリースクール)」です。鳥取県は、全国に先駆けてフリースクールへの運営費支援や利用料助成制度を整備しており、学校外の学びの公的支援を行う先進事例といえます。そういった支援が、子どもの学びの保障を拡充する一方で、フリースクールの独自性、質保証、行政との関係性にどのような変化をもたらすのかについて私は関心があり、早速鳥取県内の様々なフリースクールでのフィールドワークを行っています。

本学では、私のこれまでの経験を活かして、学生の皆さんがもつ教職というキャリア目標が実現できるように最大限サポートしていききたいと思います。

環境学部 **竹中 烈** 准教授



2026年4月に人間形成教育センターに着任いたしました。

専門は宇宙情報科学です。これまで宇宙航空研究開発機構(JAXA)の「はやぶさ2」などの宇宙探査プロジェクトにおいて、観測装置の開発や観測データの分析に携わり、地球に衝突する危険性のある小惑星の研究を行ってまいりました。

本学では、「データサイエンス」や「データサイエンス実践演習」などの授業を担当します。データがあふれる現代社会において、情報を正しく読み取り、課題解決に活用する力はますます重要になっています。学生の皆さんが、さまざまな社会課題に対してデータを活用し、自ら考え行動できる力を身につけられるよう努めてまいります。また、これまでの研究経験を生かし、宇宙情報科学の視点から新たな研究活動にも取り組みたいと考えております。どうぞよろしくお願いいたします。

人間形成教育センター **北里 宏平** 准教授

## 2028年4月、環境学部に「保全生物学科」新設

## 生き物や自然が好き。その気持ちを、地域の未来を守る力へ。

## 保全生物学科の学びのポイント

## 生き物と自然を深く学ぶ

野生生物や生態系について学び、自然のしくみやつながりを理解します。

## 地域の自然の中で実践的に学ぶ

地域の自然をフィールドにした授業に重点をおき、専門分野の力を身につけます。

## 守るだけでなく、未来に生かす力を育てる

自然を保全するだけでなく、管理や活用まで考え、地域や社会の未来に役立てる力を身につけます。

※本内容は構想中のため、今後変更となる場合があります。  
なお、本学科は2028年度に設置予定であり、現在在学中の学生の所属学科、カリキュラム、卒業要件等に影響はありません。

本学では、学生一人ひとりが学びの成果や自らの成長を実感できる“成長が見える”大学づくりを、さらに推進してまいります。





## 研究紹介



Research  
introduction

## 農家の家族をデータで読み解く

私の研究は、数字の中から人の行動や変化を読み解くことです。グラフや表として並ぶ数字の一つひとつの裏側には、人々の暮らしがあります。そこに想像をめぐらせながら、一人ひとりの生き方や社会の動きを考えることが研究の面白さです。

農家は、作物を生産する「経営体」であると同時に、家族が暮らす「生活の場」でもあります。さらに、地域を支え、景観や環境を守る「地域の担い手」という役割も果たしています。農家とは、企

業とも家庭とも少し違う、三つの側面をあわせ持つ存在です。

この実態を明らかにするために、私は「農業センサス」という大規模なデータを使っています。そこには100万戸以上の農家と約350万人の家族が記録されています。この膨大なデータを時間を追って分析することで、一見同じように見える農家の違いが見えてきます。

たとえば、後継者がいるかどうかは重要な違いの一つです。将来を担う家族がいる場合には経営を維持・拡大しようとする一方で、そうでない場合には縮

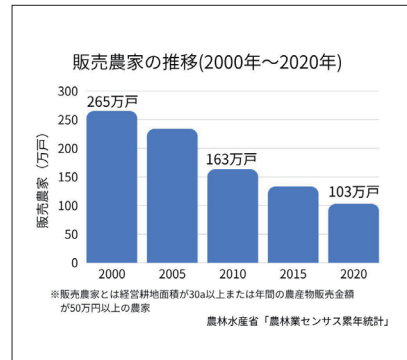
経営学部

西村 教子 教授

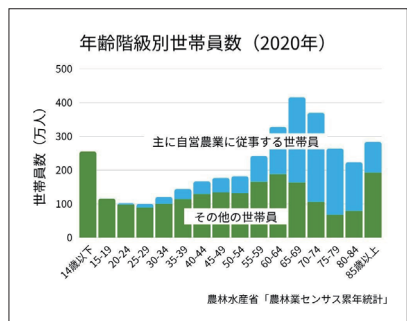
専門 | 人口経済学・開発経済学

小や転換を選ぶこともあります。そこには、数字だけでは測れない、家族の将来や地域とのつながりを考えた判断が表れています。

データは単なる数字の集まりではありません。その背後には、経営としての合理性、家族としての思い、そして地域の担い手としての責任があります。こうした多面的な姿を少しずつ読み解いていくことが、私の研究の目的であり、これからも続けていきたい探究です。



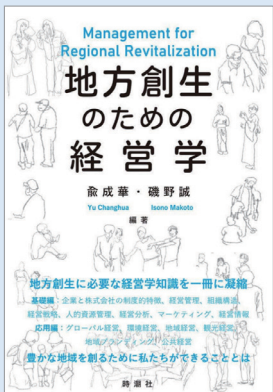
▲図1 急速に減少する農家



▲図2 高齢化する家族と農家



## 教員著書紹介



本学経営学部の12名の教員による  
共著『地方創生のための経営学』が発行されました。

## 地方創生のための経営学

俞 成華(経営学部・教授)・磯野 誠(経営学部・教授)編著

### 編著者からのメッセージ

本書は、経営学の基礎と応用を分けて、それぞれについてしっかりと解説しています。ここでいう基礎とは、経営学を学んでいるという以上、これだけは知っておきたい知識であり、さまざまな応用分野に発展していくもとなる知識です。またここでいう応用とは地域への経営学の応用的な知識です。それは皆さんが持つ(地域に関わる)志や思いに対してより具体的、直接的に近づくことができるような知識です。ぜひ本書を活用して、経営学の基礎的知識を踏まえつつ、その応用的知識にも触れ、自らの志や思いをいかに実現していくかを考えてみてください。

出版日：2026年3月31日  
出版社：時潮社  
編著：俞 成華・磯野 誠  
仕様：A5判並製/260ページ  
ISBN：978-4788807846  
定価：本体2,700円＋税

## 就職支援



## 2025年度就職・進学実績

2025年度卒業生の就職・進学実績を紹介します。

### 就職DATA

2025年度実績

#### 勤務地別就職内定者数

※配属予定地または本社所在地

中国(鳥取県を除く) 40名

環境学部 20/経営学部 20

九州・沖縄 15名

環境学部 7/経営学部 8

鳥取県 42名

環境学部 20

経営学部 22

中部 26名

環境学部 14/経営学部 12

北海道・東北 4名

環境学部 2/経営学部 2

関東 62名

環境学部 30/経営学部 32

近畿 51名

環境学部 22/経営学部 29

四国 5名

環境学部 3/経営学部 2

### 2025年度卒業生の実績

※業種別50音順

※同一の就職・進学先に複数名の実績がある場合があります。

#### 環境学部

農業、林業 ファロスファーム株式会社、有限会社ひよこカンパニー 建設業 株式会社井木組、株式会社ジャクエツ、株式会社中電工、株式会社東京エネシス、株式会社西原環境、株式会社ソフコ、株式会社ユニバーサル園芸社、島根電工株式会社、JAPAN HOME WAND株式会社、メタウォーター株式会社、ヤマタホールディングス株式会社 製造業 株式会社秋川牧園、株式会社カチエ、株式会社LIMNO、ショーワグローブ株式会社、NOK鳥取株式会社、東京化成工業株式会社、林純業工業株式会社 電気・ガス・熱供給・水道業 九電みらいエナジー株式会社、中国電力ネットワーク株式会社 情報通信業 アクシスITパートナーズ株式会社、麻生情報システム株式会社、株式会社ジオインフォシス 運輸業、郵便業 西日本高速道路バトロール中国株式会社 卸売業、小売業 株式会社アインホールディングス、株式会社エンチャー、株式会社カクヤス、株式会社九龍、株式会社TTC、株式会社ヒラタ、ゴダイ株式会社、コマツ産機株式会社、ネットヨコ山崎株式会社、兵庫トヨタ自動車株式会社、平林金属株式会社 金融業、保険業 アビリオ債権回収株式会社、株式会社阿波銀行、株式会社紀陽銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社東京海上日動パートナーズ中国四国、但馬信用金庫、新潟県労働金庫、北海道農業共済組合 不動産業、物品賃貸業 株式会社日本ネットワークサービス、山万株式会社 学術研究、専門・技術サービス業 アサヒコンサルタント株式会社、一般財団法人化学物質評価研究機構、株式会社ウジョウ、株式会社シークス、株式会社野生動物保護管理事務所、株式会社ワープス、国立研究開発法人日本原子力研究開発機構、月島ジェイテックノメンテサービス株式会社、西谷技術コンサルタント株式会社、不動技研工業株式会社 宿泊業、飲食サービス業 一般財団法人休暇村協会、株式会社松屋フーズホールディングス 生活関連サービス業、娯楽業 一般財団法人鳥取県観光事業団 教育、学習支援業 一般財団法人静岡市動物園協会、NPO法人ハーモニカレッジ、学校法人松柏学院、株式会社アワーズ、国立大学法人長岡技術科学大学 医療、福祉 医療法人社団旭、株式会社アイگران、社会福祉法人ネットワークみやび 複合サービス事業 全国酪農業協同組合連合会 サービス業 石坂産業株式会社、株式会社アウトソーシングテクノロジ、株式会社ウィルオブ・コンストラクション、株式会社エール、株式会社エスエム、株式会社クリタス、株式会社バンクチュア、株式会社姫路環境開発、株式会社ブレインファーム、ジャパンレベーターサービスホールディングス株式会社、wingAM株式会社、大栄環境株式会社、ツネシシカムテックス株式会社、日研トータルソーシング株式会社、バーソルクロステクノロジー株式会社 公務 水産庁、防衛省陸上自衛隊、岐阜市、稲沢市、兵庫県(土木)、姫路市、芦屋市、猪名川町、西宮市、和歌山県、和歌山県(林業)、鳥取県、鳥取県(林業)、鳥取県警察本部、鳥取市、鳥取市(土木)、八頭町、島根県、松江市、出雲市、新見市、山口県(林業)、高知県(林業)、熊本県(林業)、沖縄県 教員 京都府(教員)、埼玉県(教員)、鳥取県(教員)、兵庫県(教員) 大学進路学 山形大学大学院、東京大学大学院、京都大学大学院、兵庫県立大学大学院、公立鳥取環境大学大学院

#### 経営学部

農業、林業 株式会社フジタ 建設業 株式会社アイ工務店、株式会社一条工務店、株式会社オーテック、株式会社カシワバラ・コーポレーション、株式会社住居時間、株式会社不二越、JR西日本電気システム株式会社、積水ハウス株式会社、タマホーム株式会社、ヤマタホールディングス株式会社 製造業 アイエム電子株式会社、オーエム金属工業株式会社、株式会社エフ・シー・シー、株式会社ミクニ、株式会社ヨシダコーポレーション、株式会社武蔵野、株式会社武蔵野フーズ、株式会社日新、キュービータマゴ株式会社、ショーワグローブ株式会社、新明和パークテック株式会社、日本セラミック株式会社、浜松ホトニクス株式会社、富士高分子株式会社、宮下酒造株式会社 情報通信業 アグシスITパートナーズ株式会社、SDCソリューションズ株式会社、大京システム開発株式会社、株式会社IDホールディングス、株式会社イルグルム、株式会社インテック、株式会社エグゼクション、株式会社NTTデータ東海、株式会社ケイズ、株式会社テクノスジャパン、株式会社テラスカイ、株式会社トスコ、株式会社ニッセイコム、株式会社バンダイナムコミュージックライブ、株式会社同僚システムズ、コベルコソフトウェア株式会社、日本海ケーブルネットワーク株式会社、ネットリンクス株式会社 運輸業、郵便業 株式会社エーアイティ、ジェイ・アール北海道バス株式会社、四国旅客鉄道株式会社、西日本旅客鉄道株式会社、福山通運株式会社 卸売業、小売業 株式会社アインホールディングス、株式会社ピアス株式会社、日ノ丸産業株式会社、富士電機テクニカ株式会社、FLEX株式会社、増田石油株式会社、萬世電機株式会社、宮野医療器株式会社 金融業、保険業 株式会社熊本銀行、株式会社山陰合同銀行、株式会社静岡銀行、株式会社静岡中央銀行、株式会社鳥取銀行、株式会社みずほフィナンシャルグループ、株式会社みなと銀行、株式会社宮崎銀行、きのくに信用金庫、京都北部信用金庫、四国労働金庫、損保ジャパンパナード、株式会社エイブル、株式会社カチタス、大和リース株式会社 学術研究、専門・技術サービス業 アサヒコンサルタント株式会社、OCEAN GROUP株式会社、株式会社HorizonXX、税理士法人サンアーク、有限責任監査法人トーマツ 宿泊業、飲食サービス業 パパホテル株式会社、コベアーズ株式会社 生活関連サービス業、娯楽業 アイ・ケイ・ケイホールディングス株式会社、株式会社インテ、株式会社SC鳥取、株式会社丸三(LPCグループ) 教育、学習支援業 株式会社大宮スミダスクール 医療、福祉 独立行政法人国立病院機構中国四国グループ 複合サービス事業 兵庫南農業協同組合 サービス業 株式会社アソフ・ヒューマンセンター、株式会社グローブ、株式会社ツクイススタッフ、株式会社BREXA Technology 公務 東京国税局、法務省、南魚沼市、浜松市、三田市、朝来市、姫路市、鳥取県、出雲市、福山地区消防組合、出雲市

### 環境学部 卒業生紹介



井上 瑞貴 さん  
兵庫県出身

就職先  
水産庁



山下 ひなた さん  
石川県出身

就職先  
一般財団法人  
化学物質評価研究機構



佐古 航己 さん  
鳥取県出身

就職先  
中国電力  
ネットワーク株式会社

### 経営学部 卒業生紹介



野田 早希 さん  
石川県出身

就職先  
東京国税局



飯尾 恒祐 さん  
愛媛県出身

就職先  
富士電機テクニカ株式会社



米村 はんな さん  
鳥取県出身

就職先  
株式会社山陰合同銀行





## 国際交流プログラム

本学では、海外大学との交流協定に基づき、様々な国際交流プログラムを実施しています。海外の学生との交流や歴史・文化体験は、語学力や国際感覚を磨くだけでなく、視野の広がりや自己成長のきっかけとなっています。

詳しくはこちら！



### セントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(米)との 学生交流プログラムを実施しました

「とめ」や「はらい」を習得して「花」としたためました。



茶道部の学生に教えてもらいながら、初めての茶道体験



鳥取砂丘でバチリ



チャットやアクティビティで学生と交流を深めました



本学とセントラルクリスチャンカレッジオブカンザス(以下「CCCK」)は、学生交流と異文化体験を主とした相互派遣方式の交流プログラムを実施しており、この度、2026年6月1日から6月15日まで、CCCKから2名の交換留学生トロクスラー・オースティンさんとロア・ナエリーさんが来学し、受入れプログラムを行いました。

プログラム期間中、オースティンさんとナエリーさんは本学の日本語特別講義を受講するとともに、英語村でアクティビティや、チャットへの参加を通して、本学学生との交流を深めました。

期間中、日本文化の体験の一環として、そば打ち体験、本学茶道部の学生による指導のもとで浴衣を着ての茶道体験や、書道体験もしました。また、ホームステイを通して鳥取県の一般家庭のライフスタイルを体験しました。

キャンパス最終日となる6月12日は、英語村主催のお別れ会に参加し、交流した本学学生たちと名残惜しくお別

れの時を過ごしました。オースティンさんのプログラム体験記には『日本語や日本文化を学べてとても良い経験になりました。また、たくさんの学生と交流できて楽しかったです。また日本に来たいです。』とあり、充実した滞在となったようでした。

今回のCCCKからの交換留学生との学生交流プログラムは、本学学生にとっても言葉や文化など様々なことを学ぶ貴重な機会となりました。次は、今夏に本学から2名の学生をCCCKに派遣し、アメリカンキャンパスライフを体験します。

### 「日本文化体験交流会」を実施しました

冷たい水につかりながら紙漉き体験



完成した個性豊かな色とりどりの作品



切った色紙を思い思いの構図で貼るなどして、個性豊かな作品を完成させました。参加した留学生と留学生サポーターは、一緒に日本の伝統的な文化を体験することで、楽しく交流しました。

今後このようなプログラムを通じ、互いの文化を相互理解し、国際交流に関心を持つ学生を増やすことにより、国際的な舞台で活躍できる人材育成を目指します。

本学では、外国人留学生の日本語学習や生活上の相談に乗り、異文化を相互に学び合うことを目的とした、「留学生サポーター(外国人留学生サポーター制度)」を設けています。

この度、外国人留学生と留学生サポーターの相互交流を深め、日本文化を体験することを目的として、日本文化体験交流会を実施し、砂の美術館と青谷和紙工房に行きました。

このうち、鳥取市あおや和紙工房では、一人ずつ紙をすいて和紙を作り、その上に細かく



### 献血推進サークル鴛鴦(OSHIDORI)

私たち献血推進サークル鴛鴦(OSHIDORI)は、学内外の献血会場で呼びかけや受付、処遇品のお渡しなどを通して、献血者を増やす活動に力を入れています。

学内では年に3回、献血活動を行っています。5月は「新入生向け」、10月は「環謝祭(大学祭)を通じて」、1月は「二十歳の節目」と、それぞれの時期に応じたコンセプトのもとに推進活動を行っているのが特徴です。

普段は鳥取大学や鳥取短期大学のメンバーと一緒に活動することも多く、血液センターの見学や献血推進広報誌の作成、さらには全国各地の献血推進学生が集まる会議への参加など、学外や全国に視野を広げられる貴重な機会がたくさんあります。

そして今年は、本学のある「鳥取県」の米子市で「全国献血推進大会」が開催されました。この全国規模の大会を通じて、多様な年代の方に献血に興味を持っていただけるよう、私たちも活動を盛り上げました。これからも、献血の輪を広げていきます。

部長:池田 さくら (環境学部 3年)



地域の方と行うウスイロヒョウモンモドキの保全活動

### 生物部

生物部は、生き物が好きな環大生が集う学生団体で、主に鳥取県内の生物を対象に観察、調査、普及啓発、希少種の保全などを行っています。毎年、100名ほどの部員が所属し、昆虫、鳥、両生・爬虫類、哺乳類、植物など部員が興味ある分類群で班を作り、自由に交流しながら調査を行ったり、県内のフィールドに出かけたりしています。



地域の子どものためのライトトラップ観察会  
@新温泉町おもしろ昆虫化石館

2025年からはキャンパス内の「自然共生サイト」登録を目指して、定期的に生物相の調査行っており、17.5ha(東京ドームおよそ4つ分)の敷地内におよそ1300種の生物が生息していることを確認しました。調査成果はオープンデータソースとして、iNaturalistのプロジェクト「環境大学の生き物たち」で公開、随時更新しています。

部長:小野 翔太郎 (環境学部 3年)



## 資格取得

将来の進路を見据え、主体的に試験合格を目指す学生の声を紹介します。

環境学部 4年

おおぬき りな

大貫 里奈さん(静岡県出身)

合格!

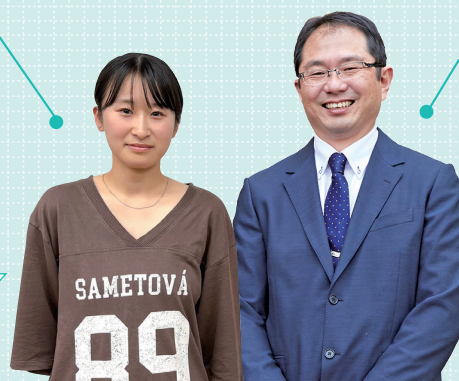
国家公務員総合職  
(農林水産省)

将来やりたいことが定まらず、在学中に自分の世界を広げようと海外でワーキングホリデーに挑戦しました。日常から離れて将来について考える中で、大好きな動物のために何かしたいという思いから、「食」として私たちが密接に支えている家畜動物の飼養環境の改善を目標とし、畜産の仕組みづくりに携わることで考えを深めようと農林水産省を志望し始めました。現地の牧場で経験を積み、仕事の合間に試験勉強を進めたほか、帰国後は同じ試験に挑む同期や先輩方、先生に支えられながら勉強に励みました。高い土俵で切磋琢磨できる仲間と、戦い方を熟知した太田先生の手厚いサポートがあったからこそ、就職活動は楽しく濃い青春の1ページになりました。

ゼミ指導教員からのコメント

環境学部 太田 太郎 准教授

本学では、農林水産技術系公務員を目指す学生を対象に、就職支援センターと専門教員が連携したサポート体制を整えています。専門分野ごとの勉強会では、教科書や過去問の解説に加え、エントリーシート作成や面接対策など実践的な指導を行っています。また、就職支援センターによる専門書の購入費助成制度など、経済的なバックアップも用意しています。さらに、技術系公務員として就職した卒業生から後輩へ受験のノウハウがしっかりと受け継がれているのも本学の強みです。こうした支援と縦のつながりが実を結び、国家公務員および都道府県の農林水産技術系公務員への就職者数は年々増加しています。



公務員学習会の様子

※本学では公務員や資格取得を希望する学生の自主的な集まりを「学習会」として位置付け、教員の指導やサポート、教材補助などを行っています。





## Pick Up ゼミ紹介



## 表彰・採択関係



## Pick Up! 松井ゼミ (担当教員／環境学部 松井 徹 准教授)

### Q.ゼミ生の雰囲気をはと言で表現すると？

環境大学でいちばん若くて、フレッシュなゼミです！



### 〈ゼミで行っていること〉

最近、地球温暖化の問題から「脱炭素」という言葉をよく耳にするようになりました。脱炭素社会を実現するためには、石油・石炭・天然ガスといった化石エネルギーから非化石エネルギーへ切り替えていくことが重要な取り組みとなります。私たちのゼミでは、その非化石エネルギーの中でも「再生可能エネルギー」をテーマとして扱っています。再生可能エネルギーは日本でつくれる「国産エネルギー」なので、海外からの輸入に頼っている日本にとって、エネルギー安全保障にも役立ちます。

大学の屋上にも太陽光パネルがあり、太陽光発電はだいぶ身近な存在になってきました。しかし、脱炭素社会を目指すには、再生可能エネルギーの導入はまだまだ足りていません。太陽光、風力、バイオマス



▲水力発電所ヒアリングの様子



▲ゼミでの輪講風景

など、再生可能エネルギーの種類は多いですが、普及に向けてそれぞれに課題があります。また最近では、再生可能エネルギーを地域とどう共生させるかも重要なテーマになってきており、そのあり方も変化してきています。こうした状況を踏まえ、私たちのゼミでは再生可能エネルギーをいろいろな角度から捉え、普及に向けた研究を進めていきたいと考えています。

### 〈卒業論文について〉

卒業研究に向けて、今は輪講を通して再生可能エネルギーに関する基礎知識を身につけているところです。先日は若桜町の水力発電所に行きヒアリングを行いました。これから実際の現場に足を運び、事業者の方のお話を聞きながら、再生可能エネルギーの未来についてみんなで考えていきたいと思います。

### 〈ゼミに対して思うこと〉

このゼミは今年4月に始まったばかりの、できてホヤホヤのゼミです。メンバーは全員3年生で、先輩も歴史もないゼミに、勇気と熱意を持って手を挙げて参加してくれた学生ばかりです。飲み会も、もちろん勇気と熱意にあふれています！



ゼミ初飲み

大学のニュースをこちらからもご覧いただけます

TUESレポート

随時更新中！



大学 X

大学の日々を  
ゆっくと発信中



## キャンパスニュース



## SDGs共創プロジェクト

企業や自治体が抱えるSDGs課題について本学学生・教員が解決策を考え、実践するプロジェクト

## 2026年度SDGs共創プロジェクトについて

今年度は以下の8つの課題に取り組んでいます。(新規6件、前年度からの継続2件)

| No.   | テーマ                          | 共創団体名              | 担当ゼミ       |
|-------|------------------------------|--------------------|------------|
| NEW 1 | 家庭用蓄電池の蓄電ロジックについて            | ㈱スマートエネルギー鳥取       | 堀ゼミ        |
| NEW 2 | 不燃ゴミの適正な収集回数の把握              | 鳥取市生活環境課           | 門木ゼミ       |
| NEW 3 | リチウムイオン電池の発火事故防止のための実態調査     | 鳥取市生活環境課           | 門木ゼミ       |
| NEW 4 | ペットボトルの収集運搬効率向上に向けた減容方法の検討   | 鳥取県東部広域行政管理組合      | 門木ゼミ       |
| NEW 5 | 「技術者が懂れる会社」の共創ブランディングと組織デザイン | いなばテクノ・エボリューション(株) | 齊藤哲ゼミ・竹内ゼミ |
| NEW 6 | 内浜処理場嫌気性消化(メタン発酵)の最適化等の検討    | 後藤テック・東芝・クボタ環境JV   | 戸苅ゼミ       |
| 7     | 生分解性素材による椎茸菌菌の保護蓋の開発         | 菌興椎茸協同組合           | 金ゼミ        |
| 8     | ヘアカラー剤アルミチューブ容器のリサイクル活動等の拡大  | ㈱美染                | 金ゼミ        |

### 例えばこんなプロジェクト

### いなばテクノ・エボリューション(株) × 経営学部 齊藤哲ゼミ・竹内ゼミ

若手技術者の確保と活躍を促すための環境づくりを進めるため、学生ならではの視点を生かし、企業分析を踏まえながら、「技術者が懂れる会社」の実現に向けた組織デザインや情報発信のあり方を検討していきます。

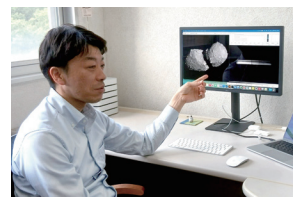
分析結果を伝える経営学部4年 藤原排那子さん ▶



## 北里准教授が携わる「はやぶさ2」拡張ミッションで小惑星「トリフネ」の接近観測に成功

本学人間形成教育センター 北里 宏平 准教授が携わる宇宙航空研究開発機構(JAXA)の小惑星探査機「はやぶさ2」の拡張ミッションにおいて、小惑星「トリフネ」のフライバイ(接近観測)が成功し、画像およびサイエンスデータの取得が行われました。

北里准教授は、「はやぶさ2」に搭載されている観測装置「近赤外線分光計(NIRS3)」の開発を手がけています。



▲北里准教授



▲詳細



▲「はやぶさ2」が取得した小惑星「トリフネ」の画像  
(©JAXA, 東京大学, 千葉工業大学, 東京科学大学, 産業技術総合研究所, パリ 天文台, カナリア天体物理研究所)

## 佐治漆の植樹地お披露目を開催

本学は佐治漆研究会に協力し、鳥取市佐治町の伝統産業「佐治漆」の文化や生産技術の継承、新たな産業のアイデア創出に取り組んでいます。その一環として、昨年11月に学内の林へ佐治漆の苗木5本を植樹しました。4月17日には、看板(制作:環境学部4年 遠藤樹さん)を設置し、植樹地のお披露目を開催。当日は、環境学部 根本ゼミ・角野ゼミの学生が参加し、研究会の橋谷田氏が佐治漆の歴史や特徴を伝えました。



## 倉持ゼミが未利用資産活用プロジェクトを行いました

6月23日～25日の3日間、経営学部倉持ゼミが、コロナ禍以降閉鎖されていた学内カフェを再起動するプロジェクトを実施しました。学生が申請手続きや企画、メニュー開発、運営まで主体的に取り組む、カフェの存在を学内に広く知ってもらい、ゼミやサークルなどによるイベント利用につなげることを目指しました。期間中は学生や教職員、学外の方など多くの来場者でにぎわいました。事後は成果や課題を検証していきます。



## 学生受賞

## 「2025年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS」全国大会でグランプリ受賞

2026年3月15日開催の「2025年度 Web×IoT メイカーズチャレンジ PLUS グランプリ決定戦」(※)において、本学経営学部3年(受賞当時2年)の西垣美希さんが所属する鳥取代表チーム「ペット守り隊」が、グランプリ(総務省国際戦略局長賞)を受賞しました。

※全国8地域(秋田・信州・三重・鳥取・岡山・徳島・香川・愛媛)のハッカソン最優秀チームが集う全国大会

発表した「まもるくん」は、災害時にはくれたペットの位置情報に加え、心拍や体温などの状態も把握できるスマート首輪で、GPSや各種センサーを活用してペットの見守りと早期保護を支援します。実装力に加え、実用性や社会的意義が高く評価されました。



詳細・受賞者コメント

## 「日本古生物学会2026年 年会」で学生ポスター賞を受賞

環境経営研究科修士2年の高橋拓暉さん(徳田研究室所属)が、日本古生物学会2026年 年会において研究成果を発表し、学生ポスター賞を受賞しました。高橋さんは、調査や試料採集が極めて困難な南極沿岸域を対象に、八放サンゴ類の多様性、分布、生息環境を丁寧に読み解き、南極海底生態系の理解につながる重要な知見を示しました。今後のさらなる研究の発展が期待されます。



詳細・受賞者コメント

発表名: 高橋拓暉, 徳田悠希, 野中正法, 自見直人, 岩谷北斗, 松井浩紀, 田村岳史, 藤井昌和, 柴田大輔, 石輪健樹, 山縣広和, 巻 俊宏, 板木拓也, 菅沼悠介  
東南極リュット・ホルム湾の八放サンゴ類, 日本古生物学会2026年 年会, 大阪公立大学(大阪市), 2026年6月.



▲受賞した高橋さん(右)と指導教員の徳田准教授



▲発表の様子

## 編集チームからのひと言

## 今回は特集にちなんで 「フレッシュ! (新鮮) に感じたこと」

鳥取の初夏の味、アゴ(トビウオ)は、幼少の頃から親しんできた好物です。新鮮な刺身で一杯やると、しみじみと心が満たされ、気持ちも新たに仕事への英気を養っています。



Sさん

2歳の娘が「たいたいだで!」「これ、おいしいだで!」と覚えてたの鳥取弁を多用しています。使い方はちょっと違うけど、大人の真似事が微笑ましいのでスルーしています。

Iさん

唐突に少し離れた場所へ散歩に行きたくなるのですが、最近は早朝に車で30分程の神社へ行き、周辺を散歩しました。澄んだ空気の中で深呼吸をすると心が洗われる気がします。

Nさん

屋休みに構内を歩いていると学生時代から追求めていた黄金色に輝くアブ、ケンランアリスアブがいました。10年近く見ている場所でも、新発見があつてまったく飽きません。

Oさん

最近バランスボードに挑戦しています。最初は10秒も立てませんでしたが、今では1分以上続けられるようになり、大人になっても成長を実感できることを新鮮に感じています。

Tsさん

最近家でソーセージを作り、出来立てのおいしさに感動しました。…ただ、まだ残る塩漬け腸2m×3本をどうしたものか考え中です。

Ttさん





詳しくは各お問い合わせ先へご連絡ください

## KANラジ 動画配信中

環境大から、あなたへ!

知識は宝! 環境大の気軽に学べるラジオ

# KANラジ

### KANラジとは?

本学の教員が自身の専門分野や研究についてラジオパーソナリティとトークを展開する、気軽に学べるラジオ番組です。

FM鳥取で放送されたKANラジの収録風景を本学公式YouTubeチャンネルからご覧いただけます。

本学教員の、普段なかなか聞くことのできない話をぜひ視聴ください!

### NEW 11月以降順次追加します。

第11回「ハイキブツのススメ ～食品ロスと海ごみの減らし方～」  
環境学部 門木 秀幸 准教授

第12回「若者が活躍できる職場」  
経営学部 中島 智子 准教授

KANラジ  
再生リスト



## 公開講座



## 公開講座

本学では一般の方を対象とした公開講座を実施しています。

オンデマンド動画配信も

ありますので、ぜひ視聴ください。(動画は随時更新中)

皆様の日常のふとした疑問を紐解ききっかけとして、また、リカレント教育の推進の一助として、今後も、引き続き魅力的なテーマでの公開講座の実施に努めて参ります。

### ● 講座情報や動画視聴はこちらから

公立鳥取環境大学 公開講座



<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/alliance/seminar/>



お問い合わせ 企画課

TEL 0857-38-6704 E-mail event@kankyo-u.ac.jp

## 寄附金のお願い

### 〈公立鳥取環境大学基金〉

学生の修学・生活の援助や教育活動の支援及び教育研究施設・設備等の整備に活用します。

### ● 詳細はこちらから

<https://www.kankyo-u.ac.jp/about/donation/>



### 〈ふるさと納税〉

ふるさと納税を活用した大学への取組みに対する支援ができるようになりました。

### ● 詳細はこちらから

<https://soko.rms.rakuten.co.jp/f312011-tottori/9002/>



お問い合わせ 総務課

TEL 0857-38-6705 E-mail zaimu@kankyo-u.ac.jp

## 主なスケジュール (2026年9月から2027年3月まで)

|                   |                     | お問い合わせ先 |
|-------------------|---------------------|---------|
| 9/28(月)～9/30(水)   | 後期ガイダンス・履修登録期間      | 学務課     |
| 10/1(木)～10/7(水)   | 履修科目変更期間            | 学務課     |
| 10/23(金)          | 金曜日の授業日/午後休講        | 学務課     |
| 10/24(土)・10/25(日) | 環謝祭                 | 学務課     |
| 10/26(月)          | 金曜日の授業日/午前休講        | 学務課     |
| 11/7(土)           | 保護者懇談会              | 学務課     |
| 12/29(火)～1/3(日)   | 事務取扱休業              | 総務課     |
| 1/15(金)           | 大学入学共通テスト前日準備(全日休講) | 学務課     |
| 1/19(火)           | プロジェクト研究発表会         | 学務課     |
| 1/28(木)～2/3(水)    | 後期試験                | 学務課     |
| 2/5(金)～2/9(火)     | 後期追試験               | 学務課     |
| 3/19(金)           | 学位授与式               | 総務課     |

※スケジュールは変更になる場合があります。変更がある場合は本学ホームページに掲載します。



## 大学祭のお知らせ



### 第26回 環謝祭 最強～バクレツ魂～

アーティストによるコンサートやサクルのパフォーマンス、委員会が考えた特別企画、そしてたくさんの模擬店と楽しいイベントが盛りだくさんなので、ぜひご来場ください!

● 日程: 2026年10月24日(土)・25日(日)

● 会場: 公立鳥取環境大学

お問い合わせ 大学祭実行委員会

E-mail gakusai@kankyo-u.ac.jp HP <https://r.goope.jp/kansyasai21>

詳細はこちら



## 2026年度 学部・大学院 学位授与式

【日時】2027年3月19日(金)

● 受付開始 / 9:30

● 開 式 / 10:00

● 終了予定 / 13:00

【会場】とりぎん文化会館梨花ホール  
(鳥取県鳥取市尚徳町101-5)

2026年度公立鳥取環境大学 学部・大学院学位授与式を左記の通り執り行います。  
開催日が近づきましたら、詳細をホームページでお知らせしますので、ご確認の上、ご出席ください。

〈お問い合わせ先〉

公立鳥取環境大学総務課  
TEL:0857-38-6700



## 食材提供への御礼

鳥取地区BBS会(保護司、更生保護女性会員、BBS会員)より、お米や野菜、乾物などを寄贈いただきました。ありがとうございました。



お知らせや  
ニュースを発信中!

公立鳥取環境大学 公式SNS



@kankyo\_U  
(旧ツイッター)



@kankyo-u



公立鳥取環境大学  
公式チャンネル



NEW!

## 読者アンケート

本号の感想を  
ぜひお寄せください。

